

海洋プラスチックが増える量より
減らす量が多い社会をつくる



1、自己紹介と現在の活動内容



わたしたちの理念

海洋プラごみが増える量より減らす量が多い社会をつくる

私たちのビジョン

既に流出した
海洋プラごみ
回収を推進

持続可能な
プラごみ処分
方法の確立

流出させない
生活習慣の
実践者を拡大

2、なぜ今の活動をやろうと思ったか



状況

1

海ごみの回収は
追いついていない

2

この10年で
状況は急速に
悪くなった

3

海洋プラごみが増える量より
減らす量が
多くなるように

4

子供たちに、
海洋プラごみが
減っていく
未来をつなぐ

目標

3、今の活動を通じて何を伝えたいか



今の状況を放置するとどうなる？

①健康の脅威

②持続リスク

③評価が低下

海のプラごみを減らすためにどうする？

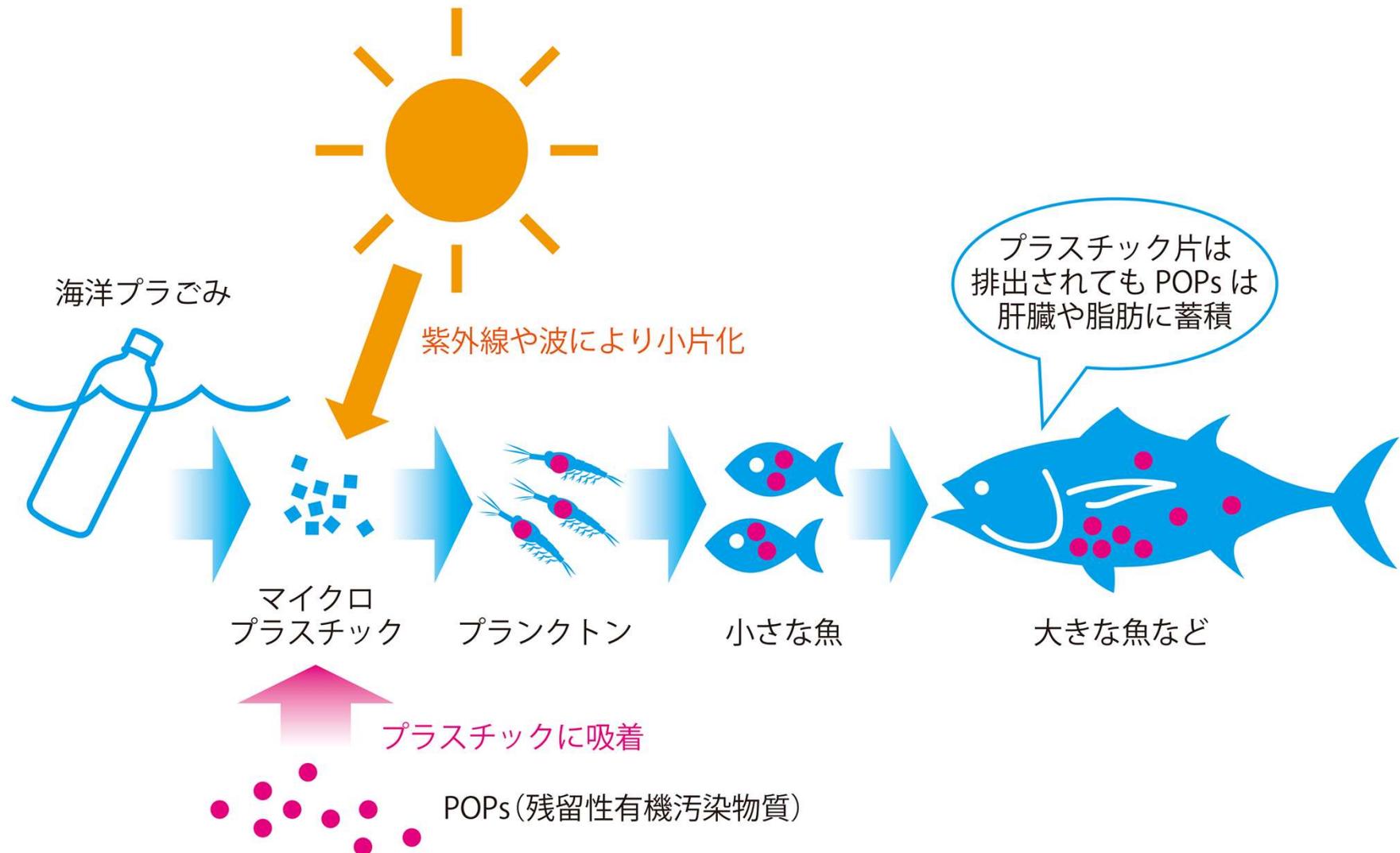
①漁業者の負担を軽減

②低コストの処分チェーン

③単黒・域黒を達成

今の状況を放置するとどうなる？

①健康の脅威



今の状況を放置するとどうなる？

②持続リスク

持続可能な社会が維持できなくなる危険性がある

日本は年間流出量
2～6万トンの
赤字体質

日本は太平洋に
流出する直前の
最後の砦

今の状況を放置するとどうなる？

③ 評価が低下

責任があるのに知らないふりをすれば国際評価は下がる

国連から
化石賞を
贈られるほど
評価が低下

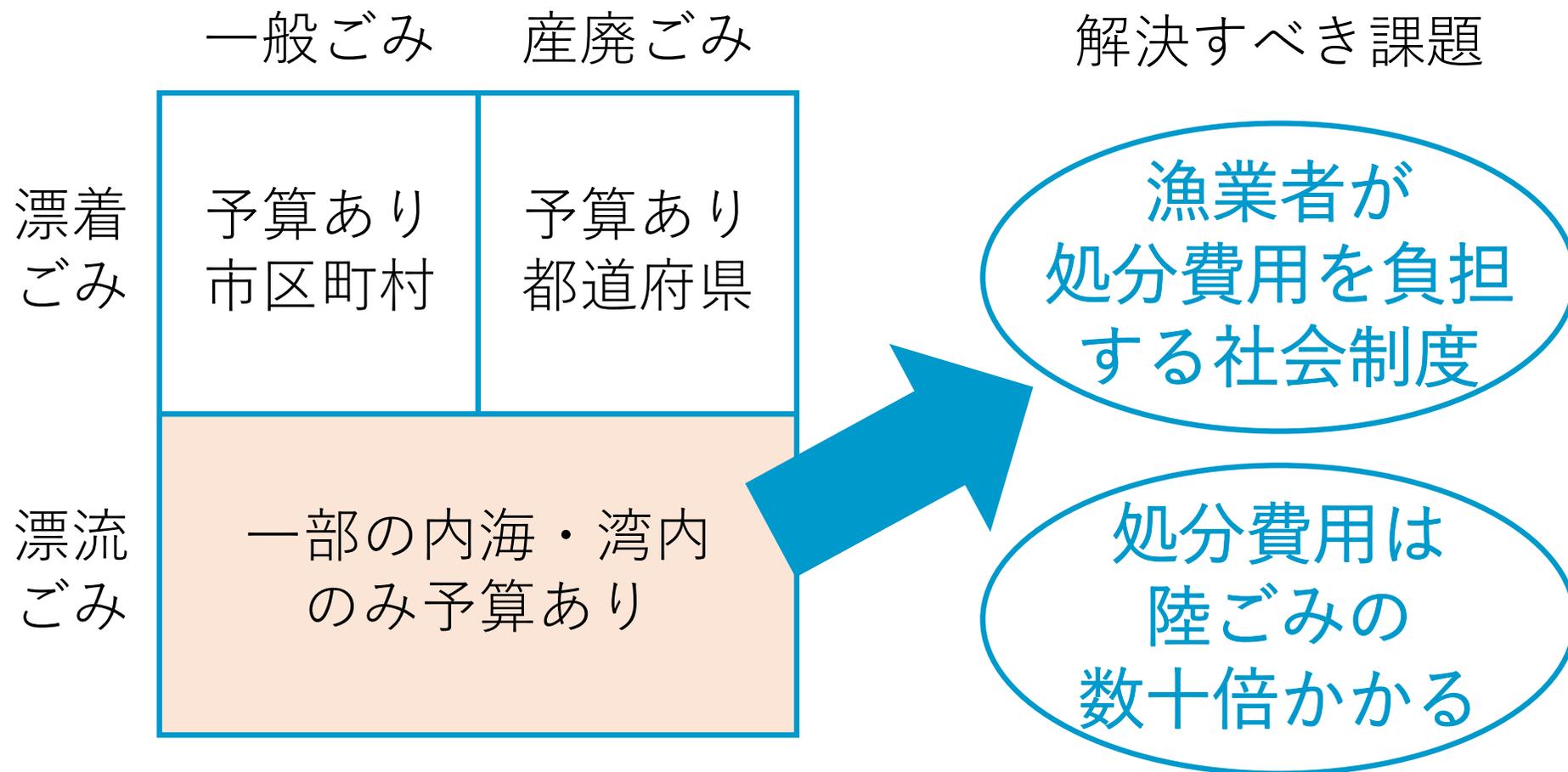
あなたも
実は関係者
2 / 3 は
街由来

プラスチック
流出上位国
に輸出して
きた

海のプラごみを減らすためにどうする？

漁業者が費用を気にせず漂流ごみを拾える体制をつくる

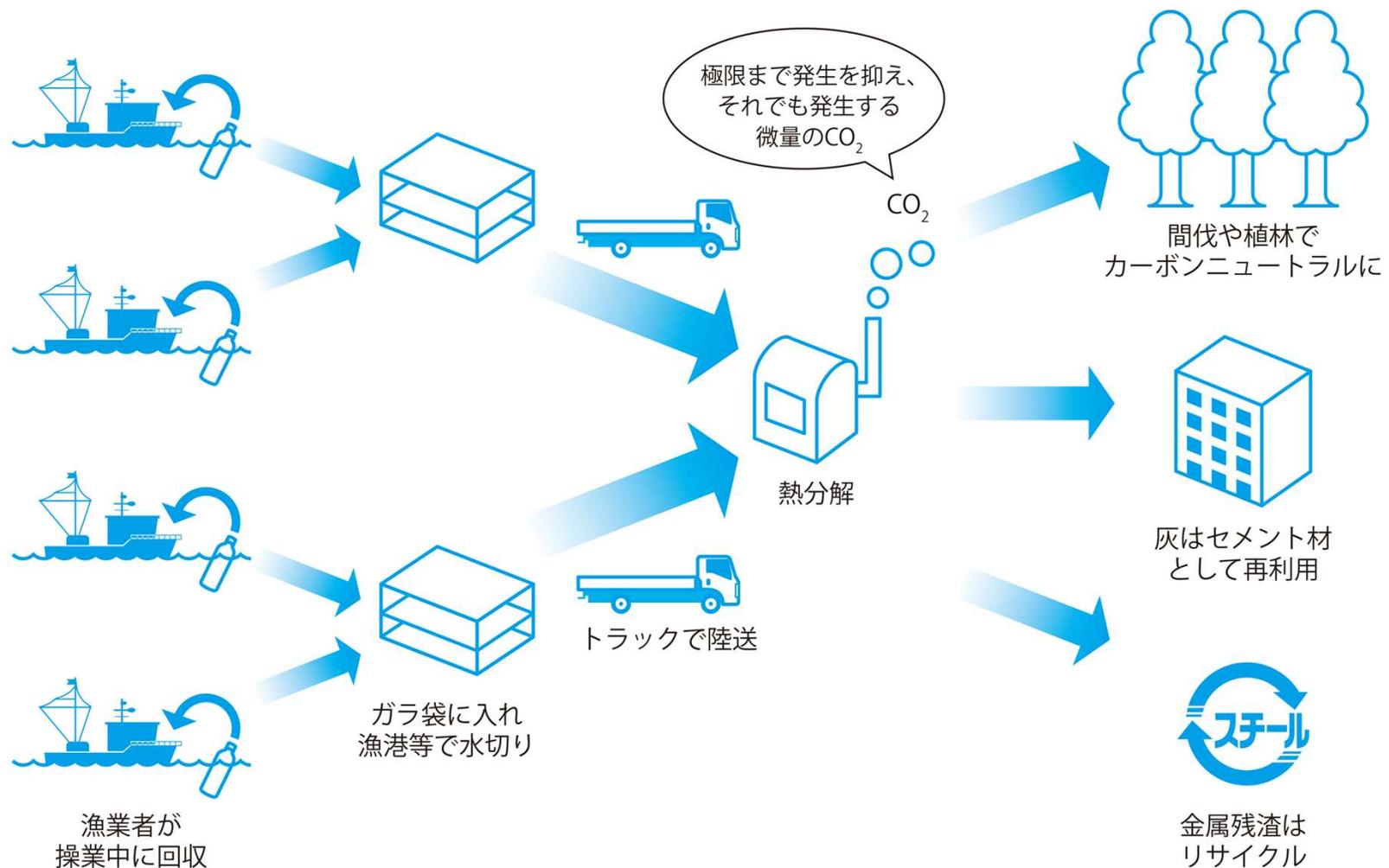
①漁業者の負担を軽減



海のプラごみを減らすためにどうする？

低コストで海ごみを処分できる処分チェーンをつくる

②低コストの処分チェーン



海のプラごみを減らすためにどうする？

プラスチックの流出量を減らして、海ごみの赤字体質を脱出する（3R + Renewableの認知拡大）

③単黒・域黒を達成

リサイクル

（捨てるときに資源に戻す）

リユース

（捨てずに再び使う）

リデュース

（資源使用量を減らす）

リニューアブル

（再利用しやすい材料を選ぶ）

4、無理や我慢をせずに出来ること



時間や場所の制約がない参加方法

写真
ボランティア
に参加

電子ブック
を読んで
課題を知る

SNSで
いいね！や
シェアする

無理や我慢をせずに出来ること

1) 写真ボランティアにご参加ください！



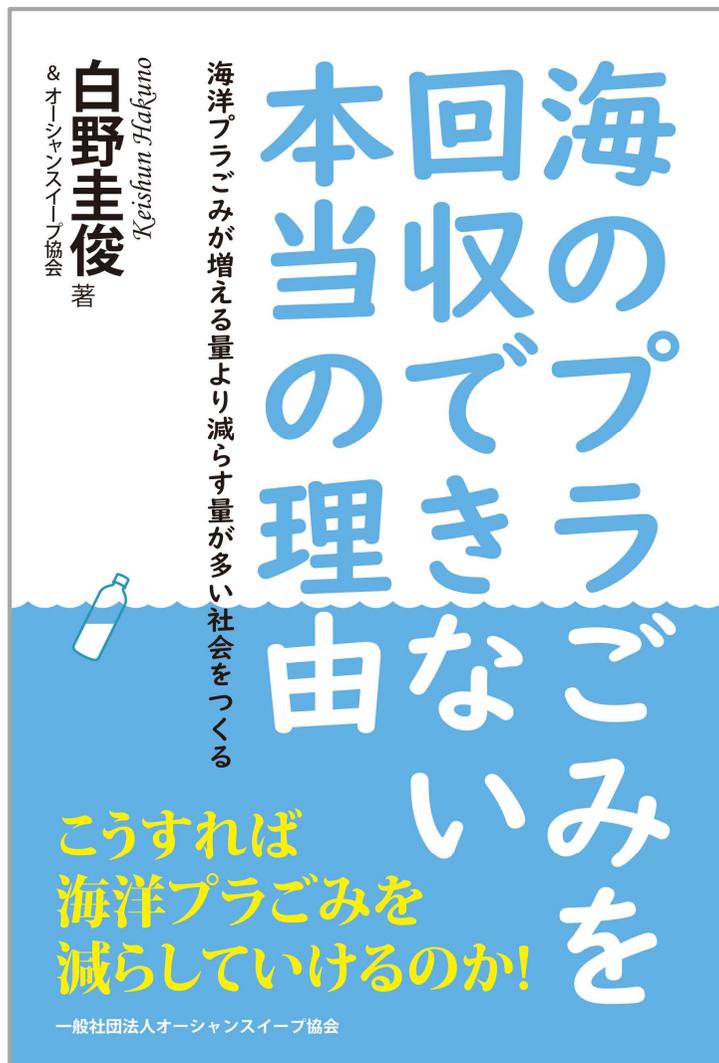
流出させない生活習慣の実践者を増やすために、リアリティある流出の現場写真をご提供ください。

<https://activo.jp/articles/84418>



無理や我慢をせずに出来ること

2) 電子ブックを読んで本当の課題を知ってください！



海洋プラスチック問題について解説した書籍『海のプラスチックを回収できない本当の理由』を、Amazonの電子ブックとして販売しています。

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09NKLSY95>



Amazon
出品最低価格
99円で
販売中

無理や我慢をせずに出来ること

3) SNSにいいね！、フォロー、シェアをお願いします！

●公式twitter (@oceansweep1)

<https://twitter.com/oceansweep1>

●公認ライターtwitter (@hackkei)

<https://twitter.com/hackkei>



●公式facebook (@OceanSweepAssoc)

<https://www.facebook.com/OceanSweepAssoc>



5、これからどんな未来にしていきたいか



めざしている未来

いつまでも
おいしい魚を
安心して
食べられる

持続可能な
未来を
子供たちに
引き継ぐ

世界に
リスペクト
され続ける
日本



<https://ocean-sweep.com>



〒350-1311 埼玉県狭山市中新田1083-3

info@ocean-sweep.com